

一般社団法人 日本生物物理学会
2020（令和2）年度 事業報告
（2020年5月1日～2021年4月30日）

目次

1. 事業概要
2. 各事業詳細資料
 - 2-1. 学術誌・学術図書発行（定款第四条第1号）
 - 2-2. 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催（定款第四条第2号）
 - 2-3. 人材育成（定款第四条第3号）
 - 2-4. 研究業績と技術的実践の奨励と表彰（定款第四条第4号）
 - 2-5. 関連学術団体との連携及び協力（定款第四条第5号）
 - 2-6. 国際的な研究協力の推進（定款第四条第6号）
 - 2-7. 普及啓発活動
3. 付属明細
 - （付属明細1）処務詳細資料
 - ・総会・役員会等に関する事項
 - ・契約・入札・他に関する事項
 - （付属明細2）会員の異動状況
 - （付属明細3）事務局の現況（2021年4月30日現在）

1. 事業概要
主な活動は
 - 1) 学術誌・学術図書（和文誌・欧文誌）の発行
 - 2) 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催
 - 2-1) 第58回日本生物物理学会年会の開催
 - 2-2) 会員総会シンポジウムの開催
 - 3) 人材育成：学会年会でのキャリア支援説明会の開催
 - 4) 若手奨励賞と学生発表賞について
 - 5) 生物科学学会連合への参画
 - 6) 国際的な研究協力の推進
 - 7) 普及啓発活動

7-1) Biophysics and Physicobiology の国際情報発信力強化

7-2) 小中高を対象としたセミナー講師派遣

7-3) ウェブサイトリニューアル

8) その他

8-1) 学会理事会での TV 会議の活用

である。以下にそれぞれを概説する。

1) 学術誌・学術図書（和文誌・欧文誌）の発行

和文誌『生物物理』第 60 巻 3 号～6 号、Supplement1-1（年会プログラム集）・1-2（年会予稿集：電子版のみ）、第 61 巻 1 号・2 号を刊行した。

欧文誌 Biophysics and Physicobiology Vol.17、Vol.18 を刊行した。

2) 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催

2-1) 第 58 回日本生物物理学会年会の開催

2020 年 9 月 16 日～2020 年 9 月 18 日、第 58 回日本生物物理学会年会をオンラインにて開催した。参加者総数：1,131 名、演題登録状況：一般演題（ポスター発表）560 件、シンポジウム：168 件であった。

2-2) 会員総会シンポジウムの開催

学会年会における会員総会の直後に、会員総会シンポジウム「学会員のメリットとは？—賞推薦と受賞報告」を企画・開催した。

3) 人材育成：学会年会でのキャリア支援説明会の開催

研究者・学生の企業におけるキャリアアップを支援することを目的とし、年会中に、（株）アカリクから講師を迎え、セミナーを開催した。

4) 若手奨励賞、若手招待講演賞と学生発表賞について

年会において、若手奨励賞、若手招待講演賞、学生発表賞が授与された。

5) 生物科学学会連合への参画

生物科学学会連合定例会議に継続して出席した。

6) 国際的な研究協力の推進

学会のグローバル化を図るため、年会において海外とのジョイント・シンポジウムを 1 件（中国）開催した。

21st IUPAB International Biophysics Congress（2024 年）の主権に向け、国際関係委員会（IAC）を中心に準備を進めた。

7) 普及啓発活動

7-1) Biophysics and Physicobiology の国際情報発信力強化

編集委員会の開催、編集委員長支援者の雇用など、Biophysics and Physicobiology 活性化のための取組を実施した。

7-2) 小中高を対象としたセミナー講師派遣

2016年10月より、小学・中学・高校生を対象とした講師派遣サポート事業を開始した。本事業の趣旨は、初等中等教育の場で最先端の科学の魅力を伝え、次世代を担う子どもたちに科学に対する興味を育んでもらうことにより、学会として社会に貢献することである。学会は、派遣授業が可能な講師の情報をウェブサイト上で紹介し、学校からの希望を受けて各講師に依頼することにより、学校と講師の橋渡しを行う。2020年度は、講師派遣5件が行われた。

7-3) ウェブサイト「生物物理について」ページのリニューアル

2020年10月、学会ウェブサイトの「生物物理について」ページをリニューアルした。

8) その他

8-1) 学会理事会でのTV会議の活用

2015年12月より学会理事会へのTV会議システムの活用を始めた。定時社員総会後の理事会および学会年会時の理事会は、face-to-faceで行っていたが、2020年度は、新型コロナウイルスの感染予防の観点から、すべての理事会をオンラインで行った。また、男女共同参画・若手支援委員会と出版委員会もTV会議システムを利用し、それぞれの委員でない理事はオブザーバとして委員会に参加した。

2. 各事業詳細資料

2-1. 学術誌・学術図書の発行（定款第四条第1号関連）																	
2-1-1]	<p>・第60巻3号～6号・第61巻1号・2号を刊行した。（A4版・隔月刊） 60巻3号 19記事66ページ 60巻4号 15記事71ページ 60巻5号 15記事60ページ 60巻6号 16記事67ページ 61巻1号 19記事83ページ 61巻2号 16記事68ページ</p> <p>【ダウンロード数（2020年5月～2021年4月）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>今期刊行号</th> <th>バックナンバー</th> <th>総計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学会 PDF 版</td> <td>2,138</td> <td>1,698</td> <td>3,836</td> </tr> <tr> <td>J-STAGE 版</td> <td>29,474</td> <td>1,128,401</td> <td>1,157,875</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>31,612</td> <td>1,130,099</td> <td>1,161,711</td> </tr> </tbody> </table> <p>・第60巻はSupplement1-1（年会プログラム集：印刷体2,280部）、Supplement1-2（年会 予稿集：電子版のみ）も発行した。</p> <p>【冊子体購読数】 機関会員：39、購読（書店経由）：47、購読会員：7（内名誉会員3） 上記に加え、賛助会員6、寄贈会員10にも送付した。</p>		今期刊行号	バックナンバー	総計	学会 PDF 版	2,138	1,698	3,836	J-STAGE 版	29,474	1,128,401	1,157,875	合計	31,612	1,130,099	1,161,711
	今期刊行号	バックナンバー	総計														
学会 PDF 版	2,138	1,698	3,836														
J-STAGE 版	29,474	1,128,401	1,157,875														
合計	31,612	1,130,099	1,161,711														
2-1-2. 欧文誌「Biophysics and Physicobiology」	<p>Vol.17 (2020.5-12) Regular Article 5、Review Article 4、Note 3、Editorial 1、Commentary and Perspectives 5、Database and Computer Program 2、Method and Protocol 1 (Total 21)</p> <p>Vol.18 (2021.1-4) Regular Article 6、Review Article 1、Commentary and Perspectives 2、Method and Protocol 1 (Total 10)</p> <p>【ダウンロード数（2020年5月～2021年4月）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>今期刊行号</th> <th>バックナンバー</th> <th>総計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,173</td> <td>25,809</td> <td>32,982</td> </tr> </tbody> </table>	今期刊行号	バックナンバー	総計	7,173	25,809	32,982										
今期刊行号	バックナンバー	総計															
7,173	25,809	32,982															
2-1-3. 学会ウェブサイト	・2020年10月、「生物物理について」のページをリニューアルした。																
2-2. 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催（定款第四条第2号関連）																	
2-2-1. 年会運営	<p>・以下の年会を開催した。 2020年第58回日本生物物理学会年会 年会実行委員長：大澤 研二氏（群馬大） 日時：2020年9月16日～18日 場所：オンライン</p> <p>・以下の年会の開催準備を行った。 1) 2021年第59回日本生物物理学会年会 年会実行委員長：高橋 聡氏（東北大） 日時：2021年11月25日～27日 場所：オンライン</p> <p>2) 2022年第60回日本生物物理学会年会 年会実行委員長：金城 政孝氏（北大） 日時：2022年9月28日～30日</p>																

	<p>場所：函館アリーナ・市民会館</p> <p>3) 2023 年第 61 回日本生物物理学会年会 年会実行委員長：神取 秀樹 氏（名工大） 日時：未定 場所：未定</p>
2-2-2. 総会シンポジウム	<p>・以下の総会シンポジウムを開催した。 第 6 回会員総会シンポジウム「学会員のメリットとは？—賞推薦と受賞報告」 日時：2020 年 9 月 17 日 12:00～13:00 会員総会中 場所：オンライン 形式：講演</p>
2-2-3. 各種講演会	24 件の協賛・共催・後援を行った。
2-3. 人材育成（定款第四条第 3 号関連）	
2-3-1. 男女共同参画・若手支援活動	<p>・男女共同参画・若手支援シンポジウム 以下のシンポジウムを実施した。 「今だから、今こそ、今なら言いたい、「博士を取ろう！」」 日時：2021 年 9 月 18 日 12:00～13:30（第 58 回年会会期中） 場所：オンライン オーガナイザー：日本生物物理学会男女共同参画・若手支援委員会 形式：講演</p> <p>・第 58 回年会において、キャリア支援説明会として、(株)アカリクから講師を迎え、セミナー等を実施した。</p>
2-3-2. 男女共同参画学協会連絡会への参画	<p>・男女共同参画学協会連絡会 運営委員会第 18 期第 3 回、第 19 期第 1 回、第 2 回へ出席した（2020 年 8 月 29 日、2020 年 12 月 14 日、2021 年 3 月 23 日）。</p> <p>・第 18 回男女学協会連絡会シンポジウムに参加、ポスター発表を行った。</p>
2-4. 研究業績と技術的実践の奨励と表彰（定款第四条第 4 号関連）	
2-4-1. 若手奨励賞、若手招待講演賞、学生発表賞の選考、授与	<p>・第 16 回若手奨励賞の選考を行い第 58 回年会で授賞した。（受賞者 5 名）</p> <p>・第 5 回若手招待講演賞の選考を行い授賞した。（受賞者 5 名）</p> <p>・第 5 回学生発表賞の選考を行い授賞した。（受賞者 35 名）</p>
2-4-2. Biophysics and Physicobiology 論文賞	<p>・第 9 回 Biophysics and Physicobiology 論文賞 5 報の推薦論文について審査した結果、以下の 1 論文を第 9 回 Biophysics and Physicobiology 論文賞とし、第 58 回年会で授賞した。</p> <p>Takako Sakano, Md. Iqbal Mahamood, Takefumi Yamashita and Hideaki Fujitani "Molecular dynamics analysis to evaluate docking pose prediction" Biophysics and Physicobiology, Vol.13, pp.181-194 (2016)</p> <p>・第 10 回 Biophysics and Physicobiology 論文賞 7 報の推薦論文について、審査を開始した。</p>
2-4-3. Biophysics and Physicobiology Editors' Choice Award	<p>・以下の 6 報の論文を第 7 回 Editors' Choice Award 受賞論文とし、第 58 回年会で授賞した。</p> <p>"Uncovering dehydration in cytochrome c refolding from urea- and</p>

	<p>guanidine hydrochloride-denatured unfolded state by high pressure spectroscopy" Shohei Konno, Kentaro Doi, Koichiro Ishimori Biophysics and Physicobiology, Vol.16, pp.18-27 (2019)</p> <p>"Functional significance of HCM mutants of tropomyosin, V95A and D175N, studied with in vitro motility assays" Shuya Ishii, Madoka Suzuki, Shin'ichi Ishiwata, Masataka Kawai Biophysics and Physicobiology, Vol.16, pp. 28-4 (2019)</p> <p>"Second harmonic generation polarization microscopy as a tool for protein structure analysis" Junichi Kaneshiro, Yasushi Okada, Tomohiro Shima, Mika Tsujii, Katsumi Imada, Taro Ichimura, Tomonobu M. Watanabe Biophysics and Physicobiology, Vol.16, pp.147-157 (2019)</p> <p>"Food deprivation changes chemotaxis behavior in Caenorhabditis elegans" Kei Shimizu, Keita Ashida, Kohji Hotta, Kotaro Oka Biophysics and Physicobiology, Vol.16, pp.167-172 (2019)</p> <p>"Snake Cube Puzzle and Protein Folding" Nobuhiro Go Biophysics and Physicobiology, Vol.16, pp. 256-263 (2019)</p> <p>"Bohr equation and the lost allosteric Bohr effects in Symmetry" Lihsin Lee Biophysics and Physicobiology, Vol. 16, pp. 490-503 (2019)</p>
2-5. 関連学術団体との連携及び協力 (定款第四条第 5 号関連)	
2-5-1. 生物科学学会連合への参画	・ 第 22 回定例会議 (2020 年 11 月 13 日) に出席した。
2-5-2. 他学会との連携	・ 日本物理学会、日本顕微鏡学会会員の参加発表奨励による連携強化を行った。
2-6. 国際的な研究協力の推進 (定款第四条第 6 号関連)	
2-6-1. IUPAB (国際純粋および応用生物物理学連合) 関連	・ 21st IBC (2024 年) の開催準備を行った。
2-6-2. ABA (アジア生物物理学連合) 関連	・ 第 58 回日本生物物理学学会年会 (2020) において、海外とのジョイント・シンポジウムを 1 件 (中国) 開催した。
2-7. 普及啓発活動	
2-7-1. Biophysics and Physicobiology の国際情報発信力強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 投稿を奨励するため、編集支援体制の強化 (編集業務支援者の雇用) を実施した。 ・ 2020 年 9 月パイロット版 J-STAGE Data の利用を開始 (2021 年 3 月、本運用に移行)。
2-7-2. 小中高を対象としたセミナー講師派遣	2021 年 4 月 30 日現在の講師登録者数は 46 名。 5 件の派遣授業を行った。
2-7-3. 物理チャレンジ・国際物理オリンピックへの協力	学会ウェブサイトニュース欄に第 17 回全国物理コンテスト「物理チャレンジ 2021」の実施要項を掲載した。 国際物理オリンピック 2023 日本大会の共催団体 (団体正会員) となった。

3. 付属明細

(付属明細1) 処務詳細資料

総会・役員会等に関する事項

3-1-1. 総会（開催日）	2020年6月13日（定時社員総会）、2020年12月19日（臨時社員総会）
3-1-2. 会計監査会（開催日）	2020年5月21日
3-1-3. 理事会（開催日）	<p>2020年6月13日、2020年9月5日、2020年12月19日、2021年2月20日、2021年4月24日</p> <p>・上記の理事会はすべてTV会議システムを活用し開催した。</p> <p>メール審議</p> <p>2020年5月28日 決算書・事業報告書の承認</p> <p>2020年6月30日 第58回年会総会シンポジウムについて</p> <p>2020年12月2日 ヒューマングライコームプロジェクトへの賛同について</p> <p>2021年1月14日 大阪大学「蛋白質研究共同利用・共同研究拠点」期末評価に関わるコメントについて</p> <p>2021年1月14日 徳島大学「酵素学研究拠点」認定に関する要望書について</p> <p>2021年1月18日 京都大学「ゼロエミッションエネルギー研究拠点」認定に関する要望書について</p> <p>2021年2月3日 神戸大学ほか「極限広帯域生体理工連携（仮称）」拠点認定に関する要望書について</p> <p>2021年2月3日 北海道大学ほか「触媒科学計測共同研究拠点」認定に関する要望書について</p> <p>2021年2月3日 京都大学「ウイルス・幹細胞システム医生物学研究拠点（仮称）」認定に関する要望書について</p> <p>2021年2月3日 北海道大学ほか「物質・デバイス領域共同研究拠点」認定に関する要望書について</p>
3-1-4. 委員会（開催日）	<ul style="list-style-type: none"> ・出版委員会 2020年6月13日、2020年9月5日、2020年12月19日、2021年2月20日、2021年4月24日 ・男女共同参画若手支援委員会 2020年6月13日、2020年9月5日、2020年12月19日、2021年2月20日、2021年4月24日 ・会誌編集委員会 2020年5月3日、2020年8月22日、2020年12月5日、2021年3月27日 ・Biophysics and Physicobiology 編集委員会 2020年12月12日 ・ウェブサイト編集委員会 2020年7月13日、2020年11月30日、2021年3月30日 ・賞選考委員会（メール審議含む） 2020年6月30日 文部科学大臣表彰 2020年7月10日 島津奨励賞 2020年7月27日 島津賞 2020年9月25日 東レ科学技術研究助成 2020年9月25日 東レ科学技術賞 2020年11月30日 藤原賞

	2021年2月5日 山田科学研究援助 2021年2月20日 江崎玲於奈賞 2021年3月22日 日本学術振興会賞 上記の各賞に候補者を推薦した。
--	---

契約・入札・他に関する事項

- ・主な新規契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約の種類	期間等
2021年4月1日	大阪大学総長	賃貸契約	2021年4月1日～2022年3月31日

- ・入札に関する事項（なし）
- ・その他の事項（なし）

(付属明細2) 会員の異動状況

会員種別	会員数		増減
	2020年4月30日現在	2021年4月30日現在	
正会員			
一般会員	1,955	1,896	▲ 59
学生会員	888	771	▲ 117
シニア会員	59	65	6
名誉会員	18	20	2
機関会員	39	38	▲ 1
賛助会員	7	6	▲ 1
総計	2,966	2,796	▲ 170

今期の新規入会者数

- 一般会員 58名（うち、入会キャンペーン利用者 1名）
- 学生会員 213名

(付属明細3) 事務局の現況（2021年4月30日現在）

会長室	アルバイト1名
-----	---------